

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 230 例
- 3 類感染症: コレラ 1 例(感染地域: 福島県)、細菌性赤痢 6 例(感染地域: 埼玉県 2 例、静岡県 1 例、エジプト 2 例、ネパール 1 例)、腸管出血性大腸菌感染症 176 例(うち有症者 120 例、うち HUS 4 例)[感染地域: すべて国内 国内の多い感染地域: 大阪府 20 例*、千葉県 15 例、長野県 13 例**、神奈川県 11 例 *うち 10 例は第 29 週と同様の保育園における集団発生 **うち 10 例は保育所に関連した集団発生 年齢群: 10 歳未満(62 例)、10 代(21 例)、20 代(30 例)、30 代(23 例)、40 代(10 例)、50 代(10 例)、60 代(13 例)、70 歳以上(7 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(89 例)、O157 VT2(43 例)、O26 VT1(19 例)、O103 VT1(4 例)、O111 VT1(4 例)、O103 VT1・VT2(2 例)、O126 VT1(1 例)、O145 VT1(1 例)、O157 VT1(1 例)、その他/不明(12 例)、パラチフス 1 例(感染地域: ネパール)
- 4 類感染症: A 型肝炎 3 例(感染地域: 北海道 1 例、国内(都道府県不明)1 例、インドネシア 1 例)、オウム病 1 例(感染地域: 愛知県 感染源: インコ)、デング熱 4 例(感染地域: フィリピン 1 例、ミャンマー 1 例、タイ 1 例、ホンジュラス 1 例)、日本紅斑熱 1 例(感染地域: 島根県)、マラリア 1 例(三日熱 感染地域: 国外(国不明))、レジオネラ症 15 例(肺炎型 14 例、ポンティアック型 1 例)[年齢群: 40 代 2 例、50 代 5 例、60 代 3 例、70 代 3 例、80 代 1 例、90 代 1 例 感染地域: 埼玉県 2 例、東京都 2 例、大阪府 2 例、北海道 1 例、山形県 1 例、山梨県 1 例(温泉)、富山県 1 例、岐阜県 1 例、兵庫県 1 例、山口県 1 例、福岡県 1 例、沖縄県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 3 例(すべて腸管アメーバ症)[感染地域: すべて国内 感染経路: 性的接触 1 例(異性間)、不明 2 例)、ウイルス性肝炎 1 例(B 型 感染経路: 性的接触(異性間))、急性脳炎 1 例(単純ヘルペスウイルス: 80 代)、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例(孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例(50 代、死亡)、後天性免疫不全症候群 4 例(AIDS 1 例、無症候 3 例)[感染地域: すべて国内 感染経路: すべて性的接触(異性間 2 例、同性間 2 例)、梅毒 5 例(早期顕症 II 期 3 例、晩期顕症 1 例、無症候 1 例)、破傷風 1 例(60 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は横ばいであったが、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(12.28)、宮崎県(0.68)、福島県(0.28)が多い。
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 117 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 67%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では長野県(1.29)、山形県(0.93)、埼玉県(0.93)、滋賀県(0.91)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 23 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(2.4)、埼玉県(2.1)、北海道(2.0)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 21 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大分県(7.4)、宮崎県(5.6)、三重県(5.4)、鳥取県(5.2)が多い。水痘の定点当たり報告数は 25 週以降減少が続いている。都道府県別では北海道(1.55)、宮城県(1.40)、福島県(1.31)、山形県(1.30)が多い。手足口病の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では和歌山県(15.4)、福島県(6.9)、千葉県(4.1)、福岡県(3.8)、熊本県(3.8)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では長野県(2.7)、宮城県(2.4)、新潟県(2.0)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県(0.09)、広島県(0.07)、山口県(0.06)、千葉県(0.05)が多い。風しんの報告数は 7 例と減少した。都道府県別では大阪府 2 例、北海道、長野県、愛知県、奈良県、高知県から各 1 例の順であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 19 週以降増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では三重県(10.0)、兵庫県(8.5)、大分県(8.4)、宮崎県(8.4)が多い。麻しんの報告数は増加し、17 都道府県から 73 例の報告があった。都道府県別では福岡県 14 例、大阪府 13 例、岡山県 7 例、広島県 5 例、北海道、埼玉県、千葉県、神奈川県、京都府から各 4 例、東京都、兵庫県から各 3 例、宮城県、新潟県から各 2 例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岩手県(1.21)、高知県(1.20)、秋田県(1.17)、宮崎県(1.08)が多い。
 基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(3.0)、福島県(1.7)、青森県(1.3)が多い。成人麻しんの報告数は増加し、10 都道府県から 33 例の報告があった。都道府県別では、福岡県 12 例、東京都 6 例、千葉県 4 例、北海道、山形県、神奈川県、岡山県から各 2 例、福井県、広島県、高知県から各 1 例の順であった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県		.3	1.1	4.2	1.1	.4	.7	1.4			6.5		.7		3.4				.2			
近畿	香川県	.2	.4	1.0	2.8	.7	.1	.7	.9		3.2		.1		.3							
	徳島県		.1	.3	2.8	.6	.6	.5	.6	.0	7.2		.1						.2			
	高知県		.9	.3	2.0	.8	.8	1.2	.4		4.1		1.2		2.3				.3			.1
全国	.2	.0	.5	1.2	3.3	.9	1.8	.7	.8	.0	4.8	.0	.4	.0	.8	.0	.1	.3	.0	.1	.1	
北海道	.0	.1	.6	2.0	1.8	1.5	.1	1.1	.6	.0	.7	.0	.2	.0	1.3				.2		.1	
東北	.1	.1	.5	1.1	2.3	1.0	2.8	1.3	.8	.0	2.5	.0	.6	.1	.5				.6		.0	
関東	.0	.0	.5	1.5	3.4	.9	2.4	.7	.8	.0	5.8	.0	.3	.0	.9	.0	.2	.5	.2		.2	
甲信越北陸	.0	.7	1.0	2.9	1.1	1.2	1.7	.6	.0	.0	4.7	.0	.5	.5				.2	.1		.0	
東海	.0	.0	.3	1.2	3.3	.9	1.2	.7	.7	.0	5.5	.0	.4	.0	.4	.1	.1	.3	.1		.1	
近畿	.0	.0	.4	1.0	3.5	.7	1.9	.5	.6	.0	6.4	.0	.5	.0	.5		.1	.1				
中国四国	.0	.7	.9	3.7	.8	.6	.6	.8	.0	.0	3.8	.0	.4	.0	1.4		.0	.3			.1	
九州沖縄	1.2	.1	.5	.9	3.6	.8	2.8	.2	1.0	.0	4.2	.0	.4	1.0	.0	.1	.1	.4			.1	

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。 (8月1日集計)

全国 全数把握感染症 第30週 (2007.7.23 ~ 7.29)

類 型	二類	三類感染症					四類感染症														五類感染症																				
		疾病名	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症		
第30週報告数	全 国	230	1	6	176		1		3		1				4	1					1		15			3	1	1		1	1	4				6	1				
	四 国	愛 媛 県	5																																						
		香 川 県	2																																						
		徳 島 県	2			1																																			
		高 知 県	1																																						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	10			7				2														1														1			
		東 北 道	14	1		20																		1																	
		関 東 圏	41		4	46		1		1						2						1		5			2										3				
		甲信越北陸	22			30																			2																
		東 海 道	26		1	6						1																										1			
近 畿 圏		35			29																			3														1			
中国四国		30			11												1							1					1												
九州沖縄	52		1	27											2								2			1	1										1				
週 推 移	全 国	30週	230	1	6	176		1		3		1			4	1					1		15			3	1	1		1	1	4					6	1			
	29週	204		11	118										1	2	2					1		18			6	3	1		2		14				9	1		2	
	28週	261		8	165	1			3						1	4	3					1		12			8	5	3		2		18				13				
	27週	217		5	142		1	5							1	2	3					2		18			7	5	1		2		13	3			15	2			
2007年累積数	全 国	6279	9	284	1712	18	9	32	98	9	21	3	3	92	41	23	1	1		2	27	2	316	6	438	126	135	4	90	60	789	28	11		367	52		40			
	四 国	愛 媛 県	119		3	12				1							2							3			2	1	1		5		4				5				
		香 川 県	39		1	2				1			3														1		1			1	3				3				
		徳 島 県	67			7																		1								1	1								
		高 知 県	53			3				1																	1	5			4	1	2				2				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	183		2	25	1		6	6	7	1										1	1	15			11	5	3		2	5	10				7	1		1	
		東 北 道	382	2	9	86	3	1	2	10		3			38	1							2		23			24	8	8		2	5	27		2		18	6		3
		関 東 圏	1600	4	138	624	5	5	5	29	2	7			8	18									2		189	36	41	1	24	20	387	19	3		138	16		22	
		甲信越北陸	407		11	186	1	1	1	5					9	1									33	1	16	7	9	1	7	3	20	1		16	4		3		
		東 海 道	995		35	80	2		14	9		3			4	4	3										49	7	4		10	5	119	1	1		59	3		6	
近 畿 圏		991	3	58	274	6	2	3	19		5			10	9	4		1				7		50			98	31	31		19	6	146	5	2		30	6		4	
中国四国	713		24	145				9	1	3			6	2	7	1							27			20	23	13	1	16	9	26	2		25						
九州沖縄	1008		7	292			1	11		1				17	6	9							26	3	31	9	26	1	10	7	54		3		74	16		1			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。